薔薇いくたびか（1955）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 135分
初公開日 1955/04/24

【解説】
小山いと子の同名小説を衣笠貞之助が監督し映画化。脚本は衣笠と相良準が共同で執筆した。大映が初の試みとして、所属するスターを総動員して製作したメロドラマ。
松島真一郎は東京藝大音楽部ピアノ科を受験する妹の光子を車で送迎するうち、同じ受験生である桐生弓子とお互い惹かれ合うようになっていた。だが光子と弓子はお互いを受験番号で呼び合っており、相手の名前も住所も知らなかった。光子は無事に合格したが弓子は落第、二人は会うこともなくなってしまう。縁談話が持ち上がったものの、弓子の面影を忘れられない真一郎は受け入れることができない。結婚話を持ちかけられた弓子も、嫁ぐ前にひと目だけでも真一郎に会いたいと上京するのだったが…。

【クレジット】
監督 衣笠貞之助
製作 永田雅一［製作］
企画 土井逸雄
原作 小山いと子
脚本 衣笠貞之助
相良準
撮影 渡辺公夫
美術 柴田篤二
音楽 斎藤一郎
出演 長谷川一夫
小沢栄
根上淳
南田洋子
三益愛子
若尾文子
船越英二
林成年
市川雷蔵
菅原謙次
京マチ子
山本富士子
勝新太郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.